

キズひとつない 座金作りを貫く



東洋発條工業株式会社

**「締め付け」を支え58年
座金の専門メーカー**

ボルトとナットの間にある円形の金属「平座金（ワッシャー）」。これを専門に作っているメーカーが東洋発條工業だ。ともすれば見落とされがちだが、ねじ部品だが、座金がなければねじの締め付けが強固にならず、ゆがみが生じる場合もある。特に建築物や自動車用等、安全性が求められる分野では高品質なワッシャーが必要とされる。

現在、高張力座金メーカーは、同社を含め国内に2社のみ。受注は安定しているが、同社が創業58年の歴史を誇っているのは、積み上げられた技術、製造ノウハウが評価されているからにはかならない。

ワッシャーを製造するとき、最大の問題となるのは、キズや割れ。素材となる炭素鋼は硬くて粘りがある反面、プレス機での打ち抜き加工が難しく、断面がきれいに揃わないことがある。特に自動車用ワッシャーにはシビアな品質が要求され、小さ

なキズすら許されない。そんな世界で、大手自動車メーカーと20年以上の取引を続けているという実績が、製品の高品質を示す証だ。華々しい匠の技というよりもむしろ、半世紀の間こつこつと蓄積してきた「金型のすき間」、「パンチの丸み」、「プレス機の強さ」等を見極め調整する地道な技術あつての実績である。

「鋼をプレスするとき、打抜き力が均衡でないと、割れが生じてしまうんです。そのあたりの微妙な感覚やそれを踏まえた金型の調整力が、技術なんですよ」と篠田行生社長は微笑む。

**風力発電の風車や
台湾の新幹線のレールにも使用**

平らで光沢のある同社の座金は、住宅、ビル、車、建設機械をはじめ、風力発電の風車や、台湾の新幹線のレール締結にも使われている。

生産性の向上とコストダウンに対応するため、同社は早くから炭素鋼のスリット設備を導入した。ほかに

も熱処理を社内で行う等、自社完結型の生産体制を整えている。

「鋼を自社で切ることができれば、材料ロスを抑えながらさらに鋼の性質を見極めた生産が可能で、熱処理も自分た

東洋発條工業株式会社

住所 / 〒573-0136
大阪府枚方市春日西町3-50-1
設立 / 昭和25年9月
資本金 / 4,320万円
従業員 / 38名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-891-1621
FAX / 072-891-4721

Company Profile



篠田行生さん
代表取締役

主な事業内容

高張力座金（ハイテンション・ワッシャー）、スプリング・ワッシャーの製造・販売等

「今後は、さらに材料ロスをなくすことで省資源社会に対応しつつ、今までにない複雑な座金づくりにも挑戦したい」と篠田社長は意欲を見せる。

品質管理にも細心の注意が払われ、自動車用ワッシャーについては全数を検品している。

「今後は、さらに材料ロスをなくすことで省資源社会に対応しつつ、今までにない複雑な座金づくりにも挑戦したい」と篠田社長は意欲を見せる。

大阪 20